

令和2年度 第2回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

令和2年9月16日（水） 15時00分～17時00分

2 開催場所

札幌市役所本庁舎 18階 第4常任委員会会議室

3 出席者

(1) 委員

高野委員長、上机委員、中川委員、平松委員、松村委員

(2) 札幌市職員

財政局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、他5名

4 次第

(1) 開会

(2) 報告事項

工事等発注状況について（令和2年度6月末）

(3) 審議事項

抽出工事等の決定・審議

(4) その他

ア 落札者決定に係るくじ引きの実施方法について

イ 成績重視型入札の運用状況について

(5) 閉会

5 審議概要

(1) 報告事項

【委員】 舗装工種と造園工種の入札参加者数が大きく減っているようだが、事情はあるのか。

【札幌市】 数字は6月末時点ということで、発注ペースの違いなどもあり、

年度全体の傾向としては昨年度と近い数字になってくると思われる。

【委員】 業務では成績重視型が前年同月と比べて減っているが、理由があるのか。

【札幌市】 主に測量業務の成績重視型が減少しているものが、これも発注ペースの違いであり、今後の発注で、例年程度の件数に落ち着く見込み。

(2) 審議事項（抽出工事の決定・審議）

ア 新琴似 1 2 条 7 丁目 1 号線ほか 2 線生活道路整備工事

【委員】 参加条件に設定している道路維持除雪業務の受注については、夏の道路維持工事についてもやるということだと思うが、その間、他の工事も受注できる余裕はあるのか。

【札幌市】 夏場の維持管理については、除雪ほどの規模ではなく、懸念はないと考えている。

【委員】 最低制限価格を下回って失格となった業者はなぜそのような入札をしたのか。

【札幌市】 最低制限価格の算出方法については公表しているが、個々の工事の最低制限価格そのものは事後公表のため、積算誤りがあれば、失格もあり得る。

イ 市債務負担行為 篠路 5 条 1 丁目 1 号線（篠路 5 条 1 丁目 3 9 番 1 4 9 地先～篠路 5 条 1 丁目 3 9 番 1 3 4 地先間）ほか 1 線生活道路整備工事

【委員】 成績重視や、除雪業務の受注等を参加条件とするものなどの設定は、どのような基準で決められているのか。

【札幌市】 施工担当課において、工事内容、規模、難易度、発注時期などを併せて総合的に判断している。年度の早い時期の方が業者の応札意欲が高いという点なども、考慮に入ってくる。

【委員長】 それぞれの入札方式を何割くらいにするという目標はあるのか。

【札幌市】 明確に施工担当課ごとに何件、という形ではないが、令和 4

年度までに工事の2割を総合評価落札方式にという目標を掲げているほか、一定割合は成績重視型入札で品質確保を図っていく等、考慮している。

【委員長】 事業者の規模の違い等を考えると、全部を総合評価にしても全ての事業者の満足を得られるわけではなく、色々な方式でやらざるを得ない。

【委員】 年度の早い時期の方が業者の応札意欲が高いという話があったが、年度の始まりとは4月という考え方になるのか。

【札幌市】 債務負担行為の設定で、1月など、早い段階に入札を行えるようにしているが、春先はまだ応札意欲が高い時期と考えられる。

ウ 中沼団地東線（中沼宅造1号線～中沼団地北3号線間）生活道路整備工事

【委員】 本案件の調査基準価格率90%というのは、一般的な数字なのか。また、当該年度の工事契約が無い場合に総合評価の地域貢献の加点を行う主旨は何か。

【札幌市】 90%が一般的かということは一概に言えないが、範囲は75%から92%の間の設定となる。入札価格が調査基準価格率を下回った場合は、失格判断基準の確認や低入札価格調査を行うこととなり、また、総合評価点は入札価格を調査基準価格に読み替えて算出することになる。当該年度の契約件数については、建設業者が、災害復旧の担い手など、本市の社会資本を支える存在であるという点を鑑み、特定の業者に落札が偏ることがないように、このような評価項目を入れている。

【委員】 評価項目にあるボランティアの具体的な内容は何か。

【札幌市】 福祉除雪や大通の花壇ボランティアなど、登録制で証明ができるものを評価している。

【委員】 先ほど調査基準価格を下回った場合の取扱いについて話があったが、実際に下回った入札は、あえて低い金額で入れてきた意味はあるのか。

【札幌市】 そもそも正しく積算ができていたかという点もあるが、総合

評価点の算出については先ほどお示ししたとおりである。

【委員】 書類提出が無かったことによる入札無効について、総合評価でやるとわかっているのに、必要書類を提出しないのには何か理由があるのか。

【札幌市】 ルールの浸透の問題もあり、件数は多くないが、添付忘れということがあると認識している。

【委員】 （抽出工事ア～ウの内容を通じて）最低制限価格でのくじ引きが多発しているということは、ある意味、健全な状態ともいえるが、どのような問題意識があるのか。

【札幌市】 積算についてオープンにした結果、くじ引きが多発しており、狙った工事が取れるかがくじによって左右されてしまうという事業者の不満はある。くじに依らないやり方の一つとして、総合評価の拡充を考えてきたところ。

【委員長】 くじ引きの弊害としては、当たらないときは全く当たらず、技術も意欲もある会社の経営が傾いてしまうという意見がある。しかし、全部が総合評価では、点数が低いところは全く受注できなくなってしまう、非常に悩ましい状況。

【委員】 適切性、経済性に加え、地域経済等への配慮ができるような制度を作っていくという理解か。

【札幌市】 お見込みのとおりで、バランスや仕組みについてどうしていくかということが、当委員会でも議論して頂く内容と考えている。

エ 市営住宅（発寒団地建替4号棟）新築工事（主体工事）

【委員】 調査基準価格と失格判断基準の間にはある程度の開きがあるのか。

【札幌市】 一般工事では調査基準価格と失格判断基準が同じラインとなっている。総合評価など、他の区分では、開きがある。

【委員長】 本案件は約11億円の案件だが、総合評価にしないのか。

【札幌市】 発注にかかる期間等、様々な要素を踏まえて施工担当課において適用の有無を判断している。大規模な建築工事は、そもそも参加可

能な事業者が限定されているということもある。

(3) その他

ア 落札者決定に係るくじ引きの実施方法について

【札幌市】 電子入札のくじは、システムにより、恣意性の介入しない形で実施しているが、仕組みの公開や、入札者にとって透明性が高くなるような方法について、くじ引き対策と併せて検討を進めていく。

【委員長】 札幌市の電子入札は JACIC のシステムで行っているということだが、国、都道府県、大きな市はほとんどこれでやっているということ。

イ 成績重視型入札の運用状況について

【委員長】 昨年度、3 年型への一本化の議論があったが、5 年型と3 年型の2 型式を試行継続し、業界へのアンケートももう一度やって判断するというので、結論が持ち越しとなった。

【札幌市】 アンケートの中身も含めて第3 回委員会でご相談させて頂き、第4 回委員会で報告させていただく予定。

【委員】 2 年型だと直近の成績を見ることになるが、コロナウィルスの影響で発注数に影響が生じるということはないのか。

【札幌市】 本市における工事等の発注件数に影響は見られず、今後については不透明なところもあるが、今のところ大きな影響は無いと考えている。

(4) 次回委員会について

抽出工事の選定は中川委員が行うこととなった。